

## 座間の湧水と歴史巡り

実施日：2022/9/17(土)

せや・ガイドの会

|      |  |
|------|--|
| コース： | 座間駅[WC]→神井戸湧水→梨の木坂横穴墓群→心岩寺・心岩寺湧水[WC]→鈴鹿明神社[WC・休憩]→鈴鹿の小径→龍源院・龍源院湧水→円教寺→番神水湧水→護王姫社→星谷寺[WC]→座間駅 【解散：12時30分頃・約6km】 |
|------|--|

◆道幅・歩道が狭い箇所や生活道路を歩きます。横に広がらないようにご協力ください◆

| No | 見所                   | 由来・史跡  |
|----|----------------------|--|
| 1  | 神井戸湧水<br>(かめいど)      | 名称は、生活に必要な水を神様が恵んで作ってくれた井戸ということで「神井戸」といわれている。水量は昔より減ったが水質もよく、古くから周辺住民の飲料水、野菜洗い水として利用されている。   |
| 2  | 梨の木坂横穴墓群             | 八世紀ころに造られた古墳で、並んで2基の古墳が発見された。外部からは羨門入口の外壁のみ拝観できるが、築成法は相模川中流域の特徴をよく表している。内部からは人骨、金環等が発見された。   |
| 3  | 心岩寺 心岩寺湧水<br>(しんがんじ) | 建長寺派の寺院で、創建は文明年間(1470年頃)という。東側台地上から縄文時代中期の遺跡が発見され、鎌倉時代の五輪塔が残されている。本堂正面から左手の湧水池は不動池と呼ばれ、湧水量が豊富なことから、かつては近在の水田に利用されていた。                                  |
| 4  | 鈴鹿明神社                | 欽明天皇時代(550年頃)、伊勢国鈴鹿郡の祭礼で海上渡御した神輿が暴風雨で当地の入り江に流れ着き、里人が社を創建して祀ったと伝えられている。明治2年(1869年)座間郡一帯の郷社になり、広く信仰を集めている。   |
| 5  | 鈴鹿の小径                | 星をちりばめたようにきれいな舗装の道で、脇には湧水が流れ、湧水の町にふさわしい雰囲気醸し出している。   |
| 6  | 龍源院 龍源院湧水            | 曹洞宗の寺院で、寛正2年(1461年)の創建。戦禍により数回焼失後現在地に移る。天保年間(1830年頃)寺子屋開設、明治5年(1872年)風牛学舎(座間小学校の前身)になる。寺院裏手の弁財天の祠からの湧水は多く、かつてはワサビ田として利用され、明治以降には生糸の撚糸や精米機の動力用水車に利用された。 |
| 7  | 円教寺                  | 日蓮宗の寺院で、鈴木弥太郎貞勝公が日蓮上人の教えを受け「円教坊」の名を頂き、その後、健治元年(1275年)身延に日蓮上人を訪ね、自邸を献上して寺の建立を発願し、円教寺として創建したという。   |
| 8  | 番神水湧水<br>(ばんじんすい)    | 米軍座間キャンプの崖下から流れ出る湧水で、そばに円教寺境外仏堂の「番神堂」がある。小公園を作っているのでトンボ池との呼ばれ、かつては生活用水のほか酒造にも使われていた。   |
| 9  | 護王姫社                 | 源義経の後を追った側室護王姫が、この地で産気づき難産の末亡くなり、村の人々は憐れに思い墓の代わりにケヤキを植えて弔った。後に日蓮上人が、姫を「護王姫大明神」として手厚く霊を慰めたと言う。  |
| 10 | 星谷寺<br>(しょうこくじ)      | 真言宗大覚寺派の寺院で、行基が諸国教化の際、当地で星の如く山谷に輝くのを見て、堂を建てて自ら彫った聖観音像を安置し、「星のように山谷に輝く霊地星」ということで星谷寺と名付けたという。坂東三十三観音霊場の第8番目札所で、星の谷観音とも称される。                              |

&lt; 次回のご案内 &gt; 保土ヶ谷の今昔を歩く(約6km)

2022年10月15日(土) 集合場所:相鉄線・星川駅 9:00~9:15受付

スタッフ募集中!

\*問い合わせ先\* せや・ガイドの会 竹見 (☎090-3900-6469)

ホームページ: 検索【せや・ガイドの会】

QRコード

